

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 日米協ギ (委)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 日米協議委員会 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43724

(14)

才仁回白米協議委員會

42
3
1

○
○
○
○
○
○

無期限

要字部

発信係 総第 4654号

昭和 年 月 日 時 分 発

電信課長

電信案 分類 2-7 19-06

時 第 181号

大臣 秋吉 直	主管 北米局長	起案 昭和42年2月7日
事務次官 藤田 隆	参事 菅野 直	起案者 杉村 春樹
外務審議官 官房長	主任 北米課長	電話番号 442

9

在 米 式 内 臨時代理 三木 大臣 苑 公 總領事

電 報 在 大 公 使 苑 總領事

件名 沖繩船舶旗本が日航の沖繩内運航(訓令)

貴電第 275 号に關し

1. 6日ザヘルン参事官と合談の際北米課長より
1月25日バンス民政府計画局長と合談(往復
第126号参照)におき米側より要望のあった退職

GB-1 外務省 回覧番号 297

全 協 議 員 正 副 長

法令の修正を要する問題である。緊急に結
論を得るにはあるいは困難ではなかろうと考
え、また、本件は本来協談委員会で討議事項
ではなかろう。正式の答復はワシントンまたは那覇
で行われるべきである。これを協談委員会に
対する米側の報告とを同時に進行しよう
調整するにも困難があるかと考えられる。抑
留の次第はワシントンへ報告する旨答えた。
3. 協談委員会が取りかかれば、当方より予算
折衝が20日から28日ごろに終了する。
予想される ~~協談委員会の報告は~~
17日までに開信するが、或いは
3月10日に予定されている予算案
の国会提出前に ~~3月~~ 3日頃までに開信する
との見込みが考えられると述べたことは、

GB-3 外務省

漢 7 89 亭 濟

年金および医療保険の増額については、先般、
 政府部内で調整の結果、ほぼ米側要求に近い
 9,000百万円および(2億1000万)にそれぞれ増額するこ
 とになった。日本側対策も米側の希望を
 入れて手直しするところである。近日中に技術
 委員会を開催し、次いで協議委員会を開催し
 して協定案に同意し、
 三木大臣は次回協談委員会では船舶旗の
 合意が成立するに強く希望している。米側の
 好意的考慮を願った。また、日航の沖縄
 運航についても次回委員会、米側の原則的許可
 の方針が明らかにされれば望ましいと考える旨申
 し入れた。

2. これに対し、ザヘレンは、船舶旗の問題は、
 政治的決定を残すのみであるが、日航の問題は

7日南米事務所との連絡によれば、民政府
 は、アンダー高等事務官のワシントン出張準備との関
 係もあり、技術委員会を開催し20日までに完了せしめ
 たい。その場合、協談委員会が17日以前に開催
 されれば不可成りである。秋は日航の運航中
 である。

先方より、3月まで待つことも、船舶旗および日航
 の二つの問題についても合意が成立した場合
 には、むしろ2月17日までに開催して援助計画
 のみについて合意するにても考えられるのではなか
 らぬかと、先方より、望みも考えられる
 けれども、先方としては、大匠の強希望があり、
 少なくとも船舶旗の問題については、次回協談委
 員会で合意に至るに強く期待するものがある
 旨申しておいた。

4. ついては、貴官におかれ、上記の二問題
 とくに船舶旗の問題について、米側が早急に
 好意的な決定を下すよう関係者等に働きかけ
 結果随時回電ありたい。

無期限

要字部

発電係 第 4540 号
昭和 年 月 日 時 分 発

電信課長 (宗) 電信案 (分類 2-9 18-18)

略平 第 190 号 緊急

大臣 北米局長	主任 北米局長	起案 昭和 42 年 2 月 9 日
政務次官	参事官	起案者 松村
事務次官		電話番号 442
外務審議官		
官房長		

在 米 武 内 臨時代理 大 公 使 宛 三 木 大臣 務 総 領 事

電 報 在 大 公 使 宛 總 領 事

件 名 沖 船 船 旗 本 上 日 航 9 沖 船 内 運 航

往 電 号 181 号 に 関 し

今 後 の 調 整 の 結 果 技 術 委 員 会 在 20. 219

両 日 に 関 係 し 協 談 委 員 会 は 予 算 折 衝 関 係

審 議 等 七 九 関 係 が 確 定 し 得 ない 故 3 月 2 日 の 9 日

GB-1 外務省 回覧番号

漢

82

寄 済

本 日 ショリン大使が出席不在と知るに由き
考慮し、一応 3 月 1 日 関係 目録に準備を
進めしにせられた。

GB-3 外務省

秘
無期限

大臣秘書官(別送北米) 官房長

2.2.12 官房総務参事官

官房書記官

北米局

参事官

北米課長

次回沖能協議委員会開催

日取りについて

昭和42.2.8.

北米

次回沖能協議委員会開催の日取りは、
次の理由から、3月1日(水)とするのが適当と

今後予備折衝の都合等により変更の
あるべしと念を致した上、一応

思われるので、お差し支えなければ、その線で準備を
進めるとしていただきます。(総理府におが米側

は、3月1日で差し支えない模様です)

(1) 本年度日本政府が沖能援助計画については、
先般の非合式折衝の結果、おが方針案を若干
手直しを線合意し得る見通しを得ているが、
先般の折衝の基礎等細目を討議する日米琉技術
委員会(那覇)は、諸般の都合で2月20日、21日
以前には開催し難い。

(2) 折衝委員会あり、協議委員会に最終合意

GA 6

外務省

案を提出する準備のため、約1週間必要とし、
おが方針も予備折衝の都合上、2月末は、大臣も
御多忙であるかと予想される。

(3) ジョーンズ大使は3月2日から9日まで沖能
フィリピンに出張不在の予定である。

(4) 協議委員会での援助案に関する合意成立は、
予備案の国会提出(3月10日頃と予想)以前で
あることが望ましい。

なお、次回協議委員会では、援助計画のほか、
船舶旗問題についても合意し得るよう、現在、

東京およびワシントンにおいて米側を督促して
いるが、なお、先般の見直しは明らかでない。

GA 6

外務省

秘
無期限

北米局長

参事官

北米課長

横山氏
森山氏

○ 14日午前 パーソル 表況官 84 の電話連絡
(渡辺 答)

○ 1. 次田 協試 委員会 の 日取り として 3月1日 付
米側 として USCAR 七 念 へ 連絡 した。

○ 日本側 の 都合 へ 因り 次第 通報 した こと
は あり かつ。

○ 2. 坂原 表況 訪 日 の 日取り 7日 ~ 10日 付 高等
弁務官 として 連絡 した。 弁務官 付 8日 付 まで

○ 21日 付 の 帰 沖。 9日 付 派 務 表況 官 の 付 添 へ 空
付 まで した。

○ 随員 高等 弁務官 と 議 会 内 務 問題 等 に関
通報 せ 経済 付 あり。

沖縄に関する日米協議委員会
の第12回会合

議事日程(案)

昭和42年3月1日

- 1 技術委員会提出の昭和42会計年度日本政府
対沖縄援助計画一覧表(一部昭和43会計
年度に支出されるものを含む。)
- 2 沖縄船舶旗問題
- 3 新聞発表についての合意

The 12th Meeting of
The Japan-United States Consultative Committee
on Okinawa

Draft Agenda

March 1, 1967

- 1 The list of projects submitted by the Technical
Committee concerning Japanese Government's
Assistance Program to the Ryukyu Islands
for JFY 1967 (^{of the Program} ^{certain} ~~includes some~~ amounts to be
appropriated in ^{the first three months of} JFY 1968)
- 2 The Question of the flag to be flown
on Ryukyuan Vessels
- 3 Agreement on statement to the
press

沖縄に関する日米協議委員会
の第12回会合

議事日程(案)

昭和42年3月1日

1. 技術委員会提出の昭和42会計年度日本政府
対沖縄援助計画一覧表(一部昭和43会計年度
に支出されるものを含む。)
2. 沖縄船舶旗問題
3. 新聞発表についての合意

The 12th Meeting of
The Japan-United States Consultative Committee
on Okinawa

March 1, 1967

Draft Agenda

Adoption of the Agenda

1. The list of projects submitted by the Technical Committee concerning the Japanese Government's Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1967 (the Program includes certain amounts to be financed in the first three months of JFY 1968)
2. The Question of the flag to be flown on Ryukyuan vessels
3. Agreement on statement to the press

無期限	要写 部	発電係 <i>PM</i> 総第 8037 号
昭和 年 月 日 時 分 発		

電信課長 *代* 電信案 (分類 *3-2-16-51*)

暗 <input checked="" type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/>	第 340 号 (分類 <i>340</i>)	起案 昭和 42 年 3 月 1 日
大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 官 房 長	主管 北米局長 <i>代</i> 参事官 <i>代</i> 北米課長 <i>代</i>	起案者 <i>横田</i> 電話番号 671

在 米 武内 臨時代理 公 宛 三木 大臣 務 総領事

電 在 大 公 使 宛 報 総領事

件名 沖縄に関する日米協議委員会第12回会合の開催

往電第328号に關し

沖縄に関する日米協議委員会第12回会合は冒頭往電のとおり執行された。当会合終了後、新聞発表

別電第341号のとおり。評録等完結。

2 字

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

特秘・極秘・秘・平文・館長符号 (朱印)	暗 略 <input checked="" type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/>	総第 8133 号
	第 号	昭和 年 月 日 時 分 発 <i>42-3-2 18-40</i>
大至急 <input checked="" type="checkbox"/> 至急 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> LTF		発電係 <i>大喜多</i>

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 官 房 長	主管 局 (部) 長 <i>代</i> 参事官 <i>代</i> 課 長 <i>代</i> 課長補佐	主管局課名 米 北 起案 昭和 42 年 3 月 2 日 起案者 <i>渡辺</i> 電話番号 443
---------------------------------------	--	---

在 那 羅 南 方 連 誼 事 務 所 長 高 杉 公 使 總 領 事 處 北 米 課 長 大 臣 務 臨時代理

電 在 大 使 報 總領事 臨時代理

件名 第12回協談委員会12702

高杉公使へ 枝村 氏

Mr. Minister, in his presentation, mentioned the hope that the ~~United States~~ ^{U.S.} States Government would also increase the amount of economic aid which it is supplying

字 2 済

43

(※印刷内は電信課記入)

(昭和四〇・四一改正)

GB-1

to the Ryukyu Islands. As you know, the Civil Administration, with the collaboration of the GRI, has developed a Long Range Plan for the utilization of funds by the GRI for economic development. Along with our responsibility for promoting economic development, we also have a responsibility to the people to see that inflation is controlled, and the total amount of external aid is one of the factors that must be taken into account in this regard. Nevertheless, the budget which has been presented by President Johnson to the U.S. Congress contains a request for a substantial increase in American aid to the Ryukyus, and it is

the hope of my Government that this increase will be approved.

秘
無期限

タイプ指示	発信用	執務用	計
主信	1	1	2
付	その(添)添付		
用			

発送 昭和42年3月6日
 発信 校 本

文書課長 公 信 案

公 信 番 号	米 北 第 278 号	公 信 日 付	昭 和 42 年 3 月 4 日
大 臣	主 管	起 案	昭 和 42 年 3 月 2 日
政 務 次 官	北 米 局 長		
事 務 次 官	参 事 官		
外 務 審 議 官	北 米 課 長	起 案 者	森 心 電 話 番 号 671
課 長	主 任		
受 信 者		発 信 者	
在 米 試 内 大 使		三 本 大 臣	
写 送 付 先		(希 望 送 付 日)	
件 名		月 日	
三 中 繩 に 関 する 日 米 協 討 委 員 会 第 12 回 会 合 に つ い て			

GA-2 外務省 4 61 回覧番号

米北第278号

昭和42年3月4日

在 米 大 使 殿

外 務 大 臣

沖繩に關する日米協討委員会第12回会合

経費が340号に關し

3月1日午後、本省で開催された沖繩に關する日米協
 討委員会第12回会合は、我方で予め準備した議長用メモ
 に従って進行したとす。同議長用メモを中心に、日米双方
 の発言及び報道用発表文を付原として取りまとめた資料
 別添貴館参考までに送付する。

付 属 添 付

GA-4 外務省